

暴力のない関係を築くこと、相談

ここでは、DV やデート DV を含む加害行為や被害行為を発生させないためには、どうすればよいかを考えるとともに、自分や身近な人が被害に遭った場合にどうすればよいかも考えてみましょう。

DV やデート DV を含む加害行為や被害行為を発生させないために

配偶者／パートナーや交際相手(恋人)との関係だけでなく、友人・知人などとの関係においても、暴力のない関係を築いていきましょう。そのためには、

暴力を認めない

どんな事情があったとしても、暴力をふるっていいという理由にはなりません。暴力によらない解決方法があるはず。暴力は、身体的なものに限らず、精神的なものや性的なものもあります。どのような暴力であったとしても、暴力をふるうことは許されるものではないのです。

自分のことを大切にす

人はみんな生まれながらにして一人ひとり大切にされるべき存在です。暴力をふるわれてもいい人など一人もいません。でも、自分を大切にする気持ちを持っていないと、暴力をふるわれたとき、相手に対してはっきりと「NO」の意思表示をすることが難しくなります。あなたは、自分のことは自分で決めることができるのです。いやなことには「NO」と言うことができるのです。自分の気持ち、自分の体を大切にする気持ちを持ちましょう。

相手のことも大切にす

自分のことを大切にする気持ちと同じように、相手への思いやりの心、相手を大切にする心を常に持つことも大事です。相手の話に耳を傾けましょう。自分の意見や考えを相手に押しつけず、相手が自分と異なる意見や考えを持っていたとしても、まずはそういった違いがあるということを受け入れましょう。そして、自分はどう思うのか、相手に言葉で伝えましょう。
(「人と人とのより良い関係をつくるために 交際相手とのすてきな関係をつくっていくには」より)

身近な若い人や知人・友人が気になっている大人のあなたへ

私自身は、DV の被害経験はないけれど、という大人のあなたへ。

「暴力をふるわれる人にも、悪いところがある」とか「もっと上手にやればよいのに」などと思ったりしていませんか。

どのような理由があっても、暴力という手段を使って、相手に自分の言うことを聞かせようとすることは、現在では、してはいけないこと、とされています。

直接、相手に暴力をふるってなくても、被害を受けている方に対して攻めたり、暴力をふるう側を擁護したりすることも、被害者を追い詰めたり、さらに傷

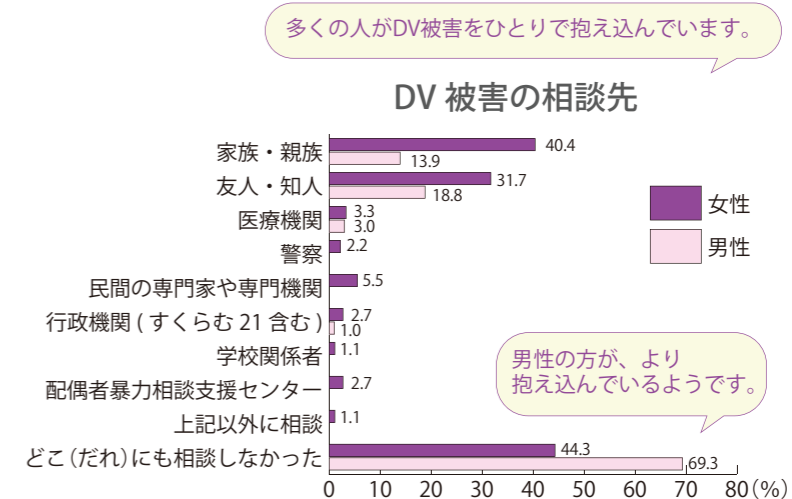
つけることとなります。

「どのようなことがあっても、暴力は認めない」という姿勢を広げていくことが、暴力をふるったりふるわれたりしていないみなさんにも、できることです。

私たちの社会で、すべての人が「どのようなことがあっても、暴力を認めない」に「そう思う」と言えるようになったときに、暴力に苦しむ方々も減っていくことでしょう。

そのような暴力のない未来に向けて、川崎市民のみさんと、一緒に歩んでいきたいと思ひます。

DV 被害者は女性だと約半数、男性だと7割以上がどこ(だれ)にも相談せずに一人で抱え込んでいます。DV 被害の相談先としては、男女とも「友人・知人」「家族・親族」という身近な人への相談が多い傾向にあります。



DV は公的機関や支援団体に相談してよい問題です。

「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を知らせる」ことが“予防への第一歩”と私たちは考えています！

配偶者／パートナーや交際相手(恋人)との関係で「何か違和感がある」「息苦しい」「怖い、逆らえない」…こんな思いがある人は、ひとりで悩まず、まずはご相談ください。

身近に、こんな思いでいる人をご存知の方は、相談してもよいこと、相談機関の情報を、押し付けにならないように、お知らせください。

相談先一覧

川崎市 DV 相談支援センター ☎044-200-0845

月～金曜日 9:30 ～ 16:30 (祝日および年末年始を除く)

悩みを抱えている女性のための電話相談

ハロー・ウィメンズ110番 ☎044-811-8600

月～木曜日 10:00 ～ 15:00 金曜日 15:00 ～ 20:00

日曜日 12:00 ～ 17:00 (土、祝日および年末年始を除く)

男性のための電話相談 ☎044-814-1080

水曜日 18:00 ～ 21:00 (祝日および年末年始を除く)

若者が公的機関に相談すること

大人も含めて、私的な関係について公的機関に相談することは、いまだに敷居の高い問題です。

特に、若年層では、市役所・区役所などに用事で出かける経験がほとんどないこともあってか、自分たち若者が公的機関の窓口に出かけても、相手にされないと考えている人もいます。

残念なことに、大人の中にも、デート DV などの若者の問題を知らないか、しっかり対応すべき問題だと認識が少ない人もいます。

そんなときも、いまだ少数派かもしれませんが、デート DV に悩む若者の相談に乗ってくれる、相談してもどうすべきかを指示しないで受けとめてくれる大人も存在するのです。

そんな大人に出会うまで、あきらめないで、助けを求めてください。

大人も、若者から相談される、信用される存在であるように、取り組みを進めていきます。

参考文献等

川崎市男女共同参画センター 2018年実施 「かわさきの男女共同参画に関するアンケート調査報告書」
内閣府男女共同参画局「人と人とのより良い関係をつくるために 交際相手とのすてきな関係をつくっていくには」(平成30年度改訂)
http://www.gender.go.jp/policy/no_violence/violence_research/yobou/kyozai.html (2020.2.24 取得)